

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/06/24

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.75	-0.04
JPY/THB	0.2241	-0.0004
USD/JPY	146.15	0.06
EUR/THB	37.92	0.18
EUR/USD	1.1578	0.0055
USD/CNH	7.175	-0.004
SGD/THB	25.50	0.04
AUD/THB	21.15	0.00
USD/INR	86.75	0.16
USD Index	98.42	-0.29

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.499	0.012
10Y (THB)	1.686	0.013
5Y (USD)	3.913	-0.047
10Y (USD)	4.348	-0.028

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,377.7	9.6
WTI (Oil)	68.51	-6.42
Copper	9,667.5	34.0

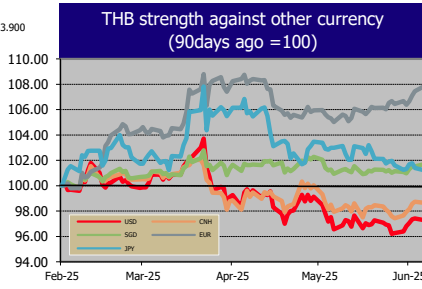
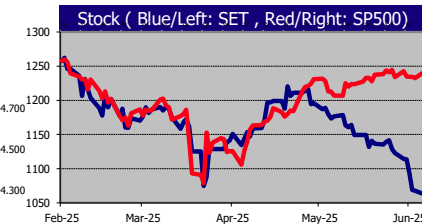
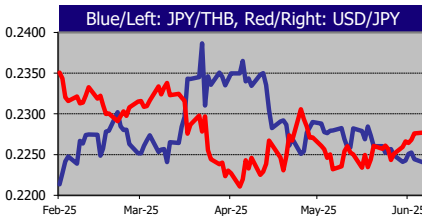
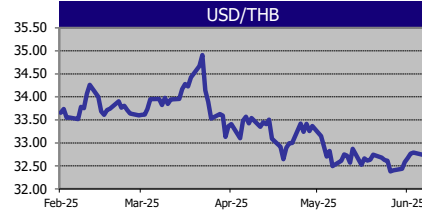
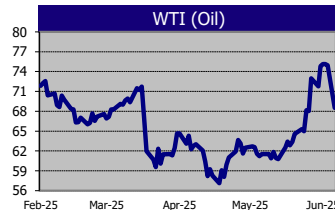
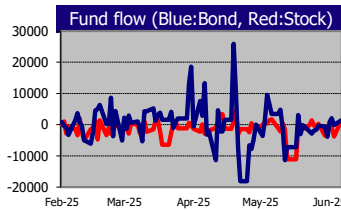
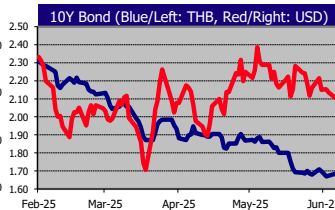
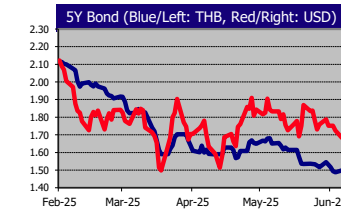
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,062.78	-4.85
NIKKEI (JP)	38,354.09	-49.14
DOW (US)	42,581.78	374.96
S&P500 (US)	6,025.17	57.33
SHCOMP (CN)	3,381.58	21.69
DAX(GER)	23,269.01	-81.54

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	913	4669.7
Bond net flow	1,320	1441.1

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上に向かっての展開。32パーツ台後半の水準で取引を開始。週末の米国によるイラン核施設攻撃を受けて、多くのアジア通貨が対ドルで上昇する中で、ドルパーツも上昇し、一時およそ1カ月ぶりに33台に乗せる展開となった。ただ、海外時間に入ると、ポウマン・FRB副議長が7月FOMCにおける利下げ支持の可能性を示唆したことで、ドルパーツは下落に転じ、32パーツ台後半まで戻した。その後、終盤にかけても上値の重い推移が継続。結局、オープンとほぼ同水準となる32.75レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円も上に向かっての展開となった。146円台前半の水準で取引を開始すると、中東情勢緊迫化を背景にじりじりと上昇。バンコク時間正午頃に147円台に乗せると、その後も底堅い推移が継続。海外時間入りにかけては一時148円台前半を付けた。その後、Fedメンバーによるハト派的な発言に加え、イランによる報復攻撃が軍事施設に限定、事前通告ありといった内容であったことから地政学リスクに対する過度な警戒感が後退したこともあり、ドル円は146円台前半まで下落。そのまま146.15レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先ほどトランプ大統領がイスラエルとイランが完全な停戦で合意したと発表した。昨日のアジア時間は、週末の米国によるイラン核施設への攻撃を受け、原油高騰、有事のドル買い、金（ゴールド）の上昇などが市場の初動として見られた。海外時間に入り、イランがカタールの米軍基地を攻撃したことで一時リスクオフムードが高まるも、この攻撃には事前通告があったことや、その後の各種報道からホルムズ海峡の封鎖リスクも低下したこと等を確認すると、原油価格は急落。そこに前述の停戦発表があったため、売りに拍車がかかり、気が付けば原油価格は中東情勢が緊迫化する前の水準まで戻している。今の中東問題は原油とドルが激しく上下して来いの動きを見せたイベントとして記憶に残しておきたい。なお、昨夜のドル安の一部はFRB副議長のポウマン氏が7月FOMCでの利下げを支持する可能性について言及したことも材料視されたとの見方がある。原油高を通じたインフレ懸念も沈静化しそうな中、改めて米国の金融政策動向にも注目が要だ。また、タイに目を向ければ、今週は中銀の決定会合が開催される重要週。エコノミスト調査では金利据え置きを見込む向きのほうが多いが、足元で起きている政治的な混乱を背景に、タイの景気後退リスクは高まっており、ここから更なる原油の下落や、ドル安を通じたパーツ高が進むようであれば、サプライズ利下げの可能性も排除せずに構えておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.